

駆けぬける、今

手品好きで、「世界を変える」が口癖のアジェ

ふたりは輝ける瞬間を生きる

ブルース・リーのファンで家族思いのアウェイ

きらめきの季節 美麗時光

The Best of Times

製作：ルー・シユエン、上田信
監督・脚本：チャン・ツォーチ
出演：ファン・チウエイ、ガオ・モンジェ
制作：Chang Tso-Chi Film Studio(台湾) + NHK(日本放送協会)
協力：NHKエンタープライズ21
『第4回アジア・フィルム・フェスティバル』NHK国際共同制作作品
原題：美麗時光/2001/台湾=日本/35mm/colour/1:1.85/110分
配給：ビタース・エンド

2002年ヴェネツィア国際映画祭コンペティション部門正式出品 / チャン・ツォーチ(『最愛の夏』)監督最新作



ブルース・リーが大好きなアウェイ。

双子の姉のアミンは末期がんで余命いくばくもない。

手品に夢中で世界を変えられる気にいるアジェ。

いとこ同士のふたりは隣家に住み、家族ぐるみで仲良く暮らしている。

酔っぱらった父親を迎えに行ったり、手品を披露し過ぎて呆れられたり……。

平穏に過ごしていた日々。この毎日はずっと続くかのように思えた――。

二度と取り戻せない、青春の息吹きと輝き

いとこ同士であり、親友でもあるアウェイとアジェ。アジェは少し喧嘩っ早く、アウェイはいつもそれをたしなめている。小さないざごはありながらも、それなりに過ごしていた平穏な毎日。ある日、ふたりはやくざが経営する飲み屋のツケの取立てを任される。ピストルまで与えられ、調子に乗った彼らはどンドン羽目をはずしてゆく。すこしずつ狂いだすふたりの運命。時を同じくしてアミンの病状は次第に悪化してゆく……。

万国に共通する青春時代のキラキラと輝く時間。『きらめきの季節／美麗時光』はふたりの若者の青春模様を紡ぎだす。青春時代は短い。若さゆえの無鉄砲さから隣り合わせになってしまう「死」により、その限られた時間はさらに輝きを増すのだから。

闇の中にも光があり、どんな瞬間も素晴らしい―― 世界へ羽ばたく新しい才能、チャン・ツォーチ

前作『最愛の夏』により、世界中の映画祭で高い評価を受けたチャン・ツォーチ。さらに、本作がヴェネツィア国際映画祭のコンペに正式出品と、そのキャリアを確実に築き上げている。これまで、台湾映画界はチャン・ツォーチ自身が助監督を務めたホウ・シャオシェンをはじめ、エドワード・ヤン、ツァイ・ミンリャンと世界を舞台に活躍する監督を輩出しつづけてきた。そして、チャン・ツォーチは更なる新しい才能として今まさに世界へ羽ばたこうとしているのである。

『きらめきの季節／美麗時光』は現実と幻想が緋い交ぜになっている。この点もチャン・ツォーチ作品らしい特色だ。生と死、光と闇、現実と幻想…。境界を越えることで終わりが来るのではなく、闇の中にもまた光があり、だからこそそんな瞬間も素晴らしい――彼の作品はそんなメッセージで溢れている。

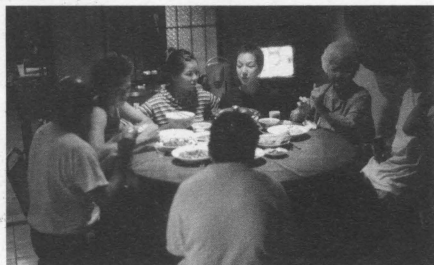
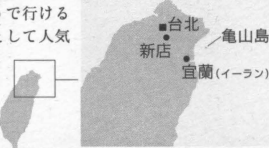
青春を体現するふたりの俳優

主人公アウェイに扮するのは前作『最愛の夏』で主人公が想いを寄せる無鉄砲な少年アピンを演じ、その寡黙な演技から人気が急上昇し、現在ではテレビドラマや映画への出演が続いているファン・チウエイ。アジェには、やはり『最愛の夏』で、短い出演時間ながらもひとときわキレぶり (!) が目立っていたガオ・モンジェが本作でも「キレぶり」を披露、若さゆえの魅力が体現している。

『きらめきの季節／美麗時光』の撮影地

撮影は台北・新店・宜蘭で行われた。台北は言わずと知れたエネルギーな台湾の首都。新店は台北市の南端に位置し、美しい湖で知られている。宜蘭は台湾東北角海岸にあり、台湾第二の温泉郷と呼ばれる礁溪温泉を有し、マリンスポーツも盛ん。映画内で登場する「亀山島」は宜蘭のシンボルでその名の通り亀のような形をしている。リアス式に続く長い海岸から見えるその島はまるで動いているように見えるという。台北から日帰りで行けるため、観光地として人気が高い。

TAIWAN



きらめきの季節／美麗時光

The Best of Times

2002年ヴェネツィア国際映画祭コンペティション部門正式出品
美麗時光/2001/台湾=日本/35mm/colour/1:1.85/110分
www.bitters.co.jp/kirameki



2月15日(土) 2/28(金) きらめきレイトショー

夜8:50~10:40 ※日曜休映

追加モーニングショー：土曜・日曜・水曜のみ朝10:20より1回上映いたします

●2/15朝10:20の回先着15名様台湾便利帳プレゼント! (提供:台湾観光協会 <http://www.taiwan.net.tw>)

特別前売ご鑑賞券 ¥1500 絶賛発売中! (当日一般 ¥1800の処)

●劇場窓口にてお求めの方にオリジナル・ポストカードをプレゼント(限定)!

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

<http://www.cinemabox.com/>